

令和4年度

水道事業概要



苦小牧市上下水道部

苫小牧市の水道概要

(令和3年度末現在)

A	行政区域内人口		168,993	人
B	給水区域内人口		168,153	人
C	給水人口		168,084	人
D	給水戸数	(年度末調定件数)	85,172	戸
E	給水普及率	(%) $C/B \times 100$	99.96	%
F	年間総取水量		19,026,445	m ³
G	年間総浄水量		17,044,451	m ³
H	年間総配水量		17,527,571	m ³
I	1日最大配水量	(R3.12.31)	53,518	m ³ /日
J	1日平均配水量	H/年日数	48,021	m ³ /日
K	1人1日最大配水量	(R3.12)	317	ℓ/人/日
L	1人1日平均配水量	J/C×1,000	286	ℓ/人/日
M	有効水量	N+R	16,680,420	m ³
N	有収水量		16,136,639	m ³
O	1日平均有収水量	N/年日数	44,210	m ³ /日
P	1人平均有収水量	O/C×1,000	263	ℓ/人/日
Q	有収率	N/H×100	92.1	%
R	無収水量	M-N	543,781	m ³
S	有効率	M/H×100	95.2	%
T	無効水量	H-M	847,151	m ³

もくじ

苫小牧の水道	1
水の循環	2
水源	3
浄水場	4
水質管理	5
事業運営	6
老朽化施設更新事業	7
老朽管更新事業	8
浄水場施設耐震化事業	9
重要水道管耐震化事業	10
重要給水ルート耐震化事業	10
緊急貯水槽整備事業	11
水道管の維持管理	12
財政	13
水道料金	14
広報活動	15
給水区域図	17
苫小牧市水道施設水位高低図	19

水道は私たちの大切なライフライン。

いつでも安全でおいしい水を
苫小牧市内へお届けします。



@2011 苫小牧市

とまチョップ (苫小牧市公式キャラクター)



1998年 命名

スイミー
(苫小牧市水道イメージキャラクター)

水辺に住むカワセミをロゴマーク
制作の際に用い、一般公募により
“スイミー”と名付けられました。



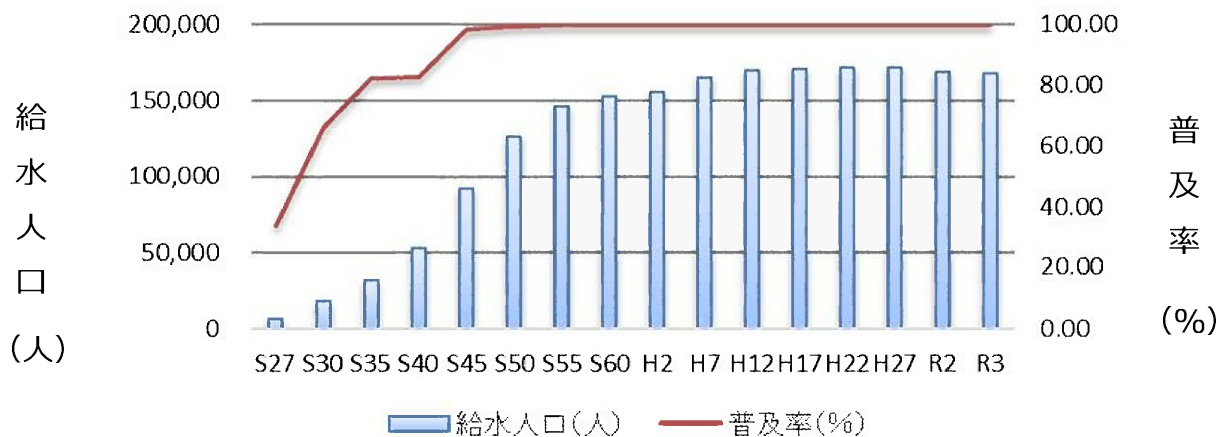
はじめに

苫小牧市水道事業は、昭和25（1950）年、幌内川を水源に計画給水人口28,100人と
して創設し、昭和27（1952）年に通水を開始しました。

その後、市の発展を背景に給水区域を拡張させ、現在は、平成8（1996）年に変更し
た計画給水人口182,000人、1日最大給水量80,500m³、目標年次を令和6（2024）年と
し、現在は、給水人口を**16万8千人**、給水普及率を**99.9%**とするまでに成長しました。

水道は市民が日々の生活を営む上で欠かすことのできないものであり、重要なライフ
ラインを担っています。苫小牧市の水道は、平成30年に策定した『苫小牧市新水道ビ
ジョン』に示された“いつでも・どこでも・おいしい水 未来へつなぐ苫小牧の水道”を
基本理念として、安全でおいしい水道水の安定供給を目指しています。

給水人口・給水普及率の推移



水の循環

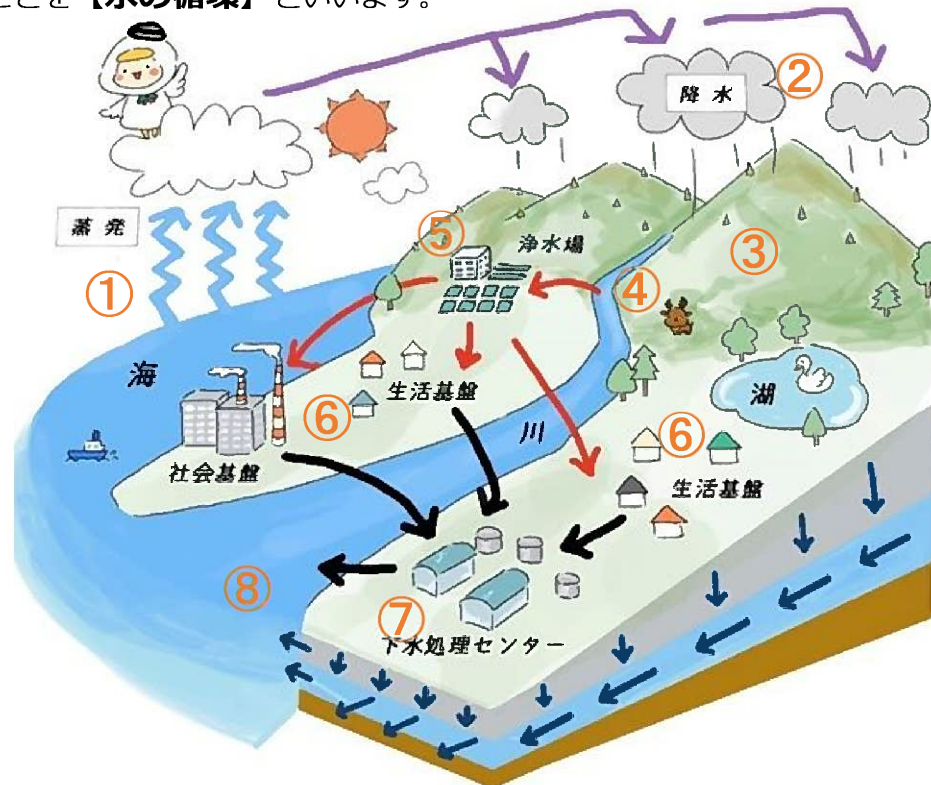
皆さんが日常飲んでいる水、実は世界中を廻って長い年月をかけてたどり着いたものということをご存じでしょうか。

水は循環して常に地球上を廻っています。水の循環が適切に行われることによって、すべての生き物の営みに必要な健全な水の存在が保たれています。

水の循環

- ① 「海」の水が蒸発して、空に上がって「雲」になり
- ② 「雲」が山の周辺で、「雨」や「雪」となって降り
- ③ 「雨」や「雪」がいくつもの「小さな川」や「沼」や「湧き水」となり
- ④ 水が集まって「大きな川」となり
- ⑤ 「川」から水を取って「水道水」がつくられ
- ⑥ 「水道水」を皆さんが家や学校・職場などで使い
- ⑦ 使われた水は「下水処理センター」できれいにして
- ⑧ 「海」へ流されます

この繰り返しのことを【水の循環】といいます。



健全な水の循環は、地表からの浸透や流れの過程の中で水質が浄化されるのと同時に川や地下水などの水量も確保されています。

また、多様な生態系の維持や水辺の保全など、地球の自然環境における重要な役割を担っています。

これまで人類による産業・社会活動の結果、地球温暖化が進行し、過去に例のない大雨や水不足などの異常気象が増加しているといわれていますが、これらは水の循環にも影響を与えています。健全な水の循環のために「環境保全」などの取り組みがなければ、皆さんが飲んでいる「おいしい水道水」をつくることができなくなってしまいます。

水源

苫小牧の良質な水源

都市生活を支える水。その水源確保は水道水の安定供給のために最も大切なことです。苫小牧市は樽前山麓の豊かな自然に恵まれた環境のもと、安定した水量を保つ、幌内川・勇払川・錦多峰川の3つの川の水を原水とし、豊かな水源を確保してきました。



幌内取水場



勇振取水場



錦多峰取水場



幌内川上流は環境省による公共用水域水質調査において、3年連続水質日本一(2017～2019年)に評価されるなど、水質のすばらしさを誇っています。

自然豊かな環境とおいしい水を将来に渡って守るため、定期的な水源のパトロールや、河川流域の清掃による水質保全と水源の監視に努めています。



幌内川上流



河川流域の清掃活動

春と秋に清掃活動を行い、河川流域のごみゼロを目指します。

昭和60年には、厚生省の「おいしい水研究会」において、全国の人口10万人以上の198都市の中から、水道水のおいしい都市として32都市が選定されており、道内では苫小牧市と帯広市が選ばれています。

おいしい水の秘密について

苫小牧市の水道水の水源は樽前山麓の森林地帯で、雨や雪解け水が長い歳月をかけ地中でろ過された後、地表へと湧き出し水源河川の元となっています。

水道水の元となる河川の水質が良好なため、消毒に使う塩素の量が少ないこと。水源の環境が良好なため、有機物の汚染や異常な臭気もないこと。地中でろ過されたときに程よいミネラル分が含まれること。これが苫小牧市の水道水がおいしい秘密です。



おいしい水にかかわる検査項目

項目	おいしい水の要件値	苫小牧市の水道水
残留塩素	0.4mg/L以下	0.3~0.4mg/L
有機物	3mg/L以下	0.3~0.4mg/L
硬度 (ミネラル分)	10~100mg/L以下	25~64mg/L
臭気度	3以下	0

※令和3年度平均値

浄水場

安全でおいしい水をつくります

河川から取り入れた水（原水）を安全でおいしく飲むことのできる水道水に処理するための施設が浄水場です。

東西に長い苫小牧市の浄水場は高丘と錦岡にあり、そこから水道水をお届けしています。

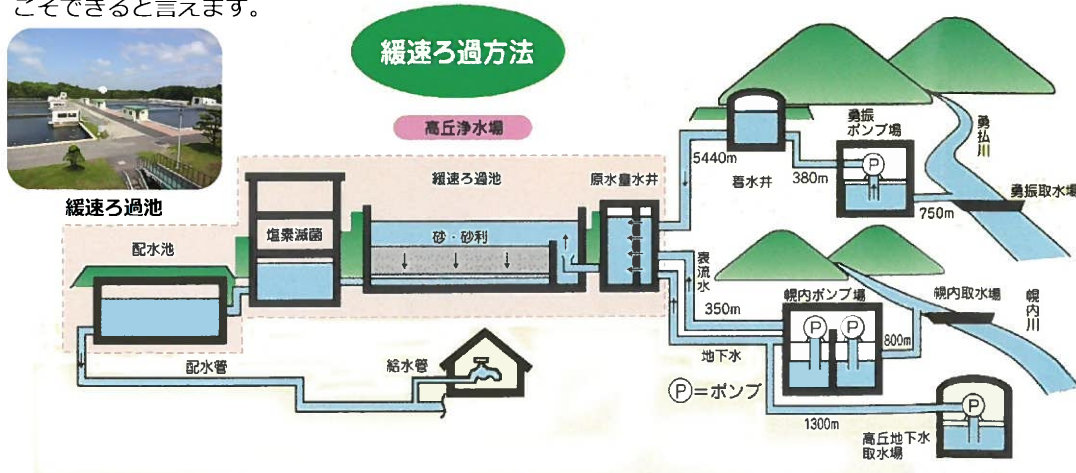
高丘浄水場（日最大浄水処理能力：44,500m³）

高丘浄水場では、緩速ろ過方式で水道水をつくっています。

緩速ろ過方式は、微生物の働きにより汚れを取り除くため、消毒用の塩素以外に薬品を使用することのない方式です。しかし広大な敷地ときれいな原水が必要であるため、この浄水方法を取り入れている施設は、全国の浄水場の約10%程度にとどまり、自然豊かできれいな水の苫小牧だからこそできると言えます。



昭和40年度供用開始



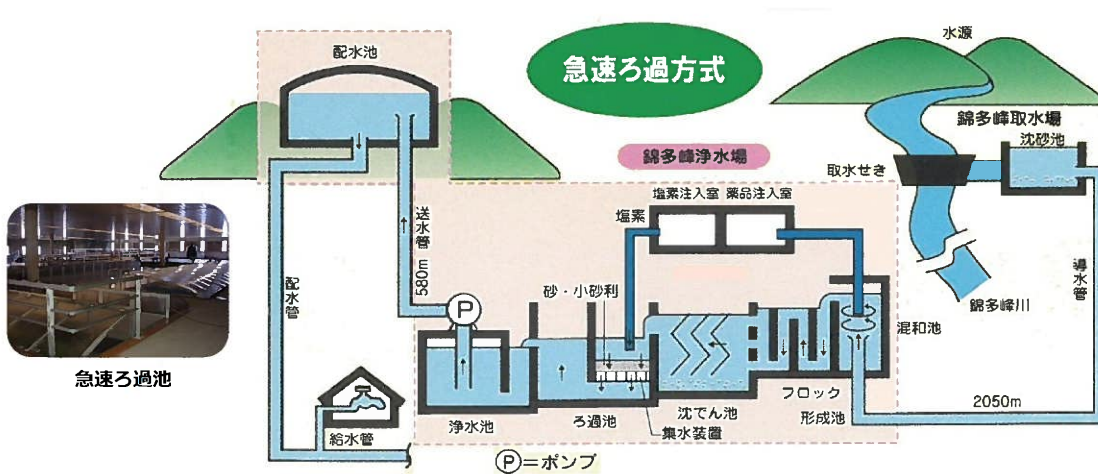
錦多峰浄水場（日最大浄水処理能力：36,000m³）

錦多峰浄水場では、急速ろ過方式で水道水をつくっています。

急速ろ過方式は、コンパクトな敷地で浄水場を運用でき、かつ凝集剤の注入率を変更することにより大雨時等で原水が濁った場合でも水道水がとれることから、全国の水道事業で最も多く採用されている方式です。



昭和52年度供用開始



水質管理

安全安心な
水道水の管理

苫小牧の水道水の水源は、樽前山麓の森から湧き出した清流で良質ですが、より安全で良質な水道水をお届けするために、水源から蛇口までの水質を検査し、水道水の安全を確認しています。



水道水の基準について

水道法には、健康への影響などがあるとされる水質基準が51項目規定されており、苫小牧の水道水は、全ての項目の水質基準を満たしています。

また、水質基準以外にも、水質管理上気を付けるべき項目は水質管理目標設定項目として検査を行っています。

水質基準
51項目
検査義務・遵守義務

水質管理目標設定項目
27項目
検査要請・注意喚起する項目

消毒について

水を塩素で消毒すると水の中に微量の塩素が残りますが、これを残留塩素といいます。水道法では、水道水は蛇口から出る時点で残留塩素が0.1 mg/L以上保持することと定められています。

水質の安全性を確認する装置



誘導結合プラズマ質量分析装置
水道水中の金属成分を測定します。



全有機炭素分析装置
水道水中に含まれる有機物を測定します。



高速液体クロマトグラフ分析装置
洗剤（界面活性剤）成分を測定します。



バイオアッセイ装置
水質の変化に敏感な魚類（ヤマメ）で、水質の変化を常時監視します。



ガスクロマトグラフ質量分析装置
揮発性有機化合物（トリハロメタンなど）を測定します。

水質を監視する装置

市内6か所に水道水自動測定装置を設置し、24時間連続して水道水を検査します。

装置から送られてくる検査データは、リアルタイムで浄水場に送られ、市内の水質（色、濁り、消毒効果）を監視します。



水道水自動測定装置
市内の水質（色、濁り、消毒効果）を常時測定します。

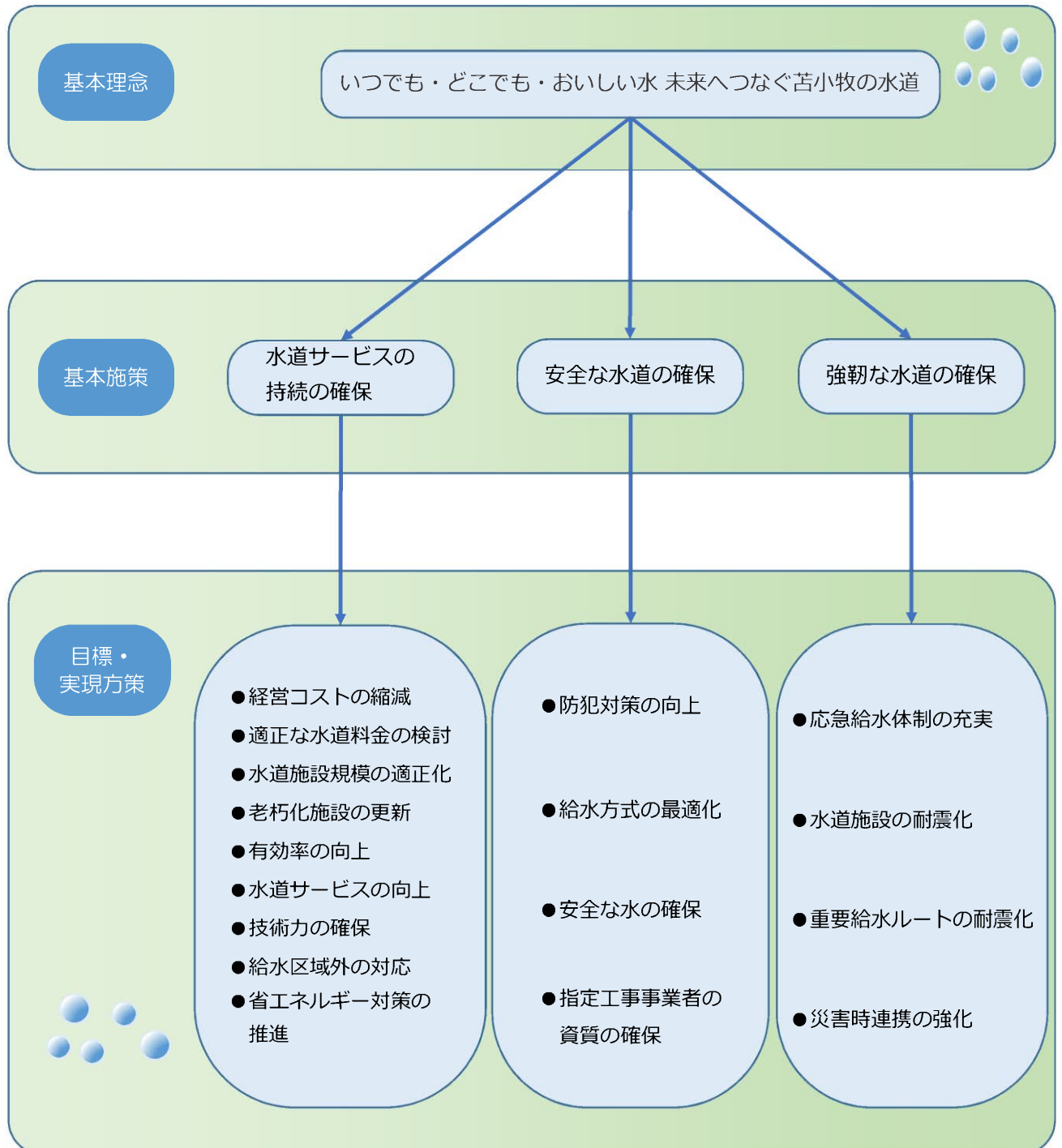


水質監視システム
市内の水質を浄水場で監視します。

事業運営

水道は人々の暮らしや社会経済活動を支える重要なライフラインであり、今後も安定した水道事業を継続していかねばなりません。水道事業が抱えている課題を解決し、より事業の促進を図るために、平成30年3月に「新水道ビジョン」を策定しています。

新水道ビジョン



老朽化施設 更新事業

浄水場施設には、土木・建築構造物や、電気・機械設備があります。単に古い順に更新するのではなく、適切な維持管理を行い、メンテナンスやランニングコストなどを含め総合的に判断し、更新を進めています。

【老朽化施設の更新について】

高丘浄水場の機械・電気設備の更新に伴い、令和2年度から管理棟の建築工事を行っています。



老朽化が進む高丘浄水場管理棟



老朽化した中央監視室（高丘浄水場）



高丘浄水場新管理棟完成イメージ
(令和4年度末完成予定)

【浄水場設備の経年化率】

令和3年度末現在

種別	設備数	経年設備数	経年化率
高丘浄水場	31	15	48.39%
錦多峰浄水場	12	4	33.33%
全体	43	19	44.19%

老朽管 更新事業

耐震性の向上と良質な水の確保を目的に、優先度に沿った更新事業を実施しています。

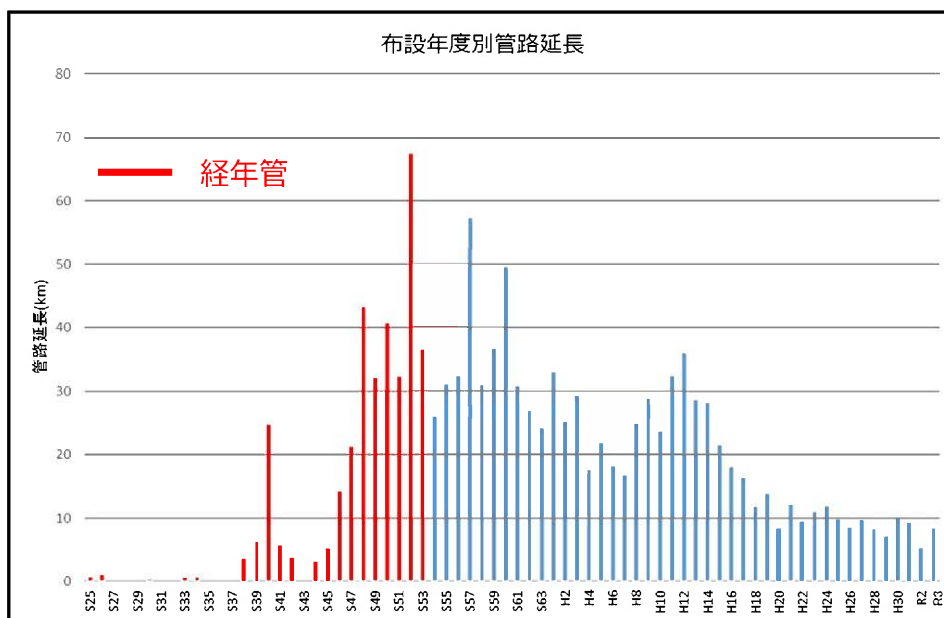
新しく入れる管は、耐震性と耐久性に優れたダクタイル鉄管などを採用し、順次更新しています。

【経年管の更新について】

経年管とは、法定耐用年数である40年を超えた管を言います。

令和3年度末現在の管路の経年化率は、約30%となっていますが、全ての経年管がすぐに不具合を起こすものではありません。

現在、老朽管として更新の対象としている水道管は、主に昭和40年代後半に埋められた普通鉄管や塩化ビニール管、硬質ポリエチレン管などで、これらは耐震性が低く、錆などの劣化も見られるため優先的に更新を進めています。



【水道管の経年化率】

令和3年度末現在

経年管延長	管総延長	経年化率
378,630m	1,257,876m	30.10%

【管種別延長集計表】

令和3年度末現在
単位：m

口径 mm	鋼管	ステン鋼管	普通鉄管	ダクタイル鉄管 (DIP)		塩化ビニール管	ポリエチレン管 (PP)		口径別延長 合計
	S P	S U S	C I P	DIP	耐震管	V P	硬質	軟質	
配水本管	36,047	512	798	25,240	18,193	0	0	0	80,790
配水管	2,347	1,826	3,542	850,980	51,987	9,456	328	244,110	1,164,576
合計	38,394	2,338	4,340	876,220	70,180	9,456	328	244,110	1,245,366
構成比率 (%)	3.1	0.2	0.3	70.4	5.6	0.8	0.0	19.6	

 現在更新事業の対象としている管種

【老朽管の更新率】

令和3年度末現在

老朽管延長	うち更新延長	更新率
190,600m	177,876m	93.32%

浄水場施設 耐震化事業

浄水場施設には、浄水場や取水場など様々な施設がありますが、耐震診断の結果に基づき、平成23年度から順次、耐震化を進めています。耐震性が不足すると判断された施設については、すべて耐震化する計画としています。

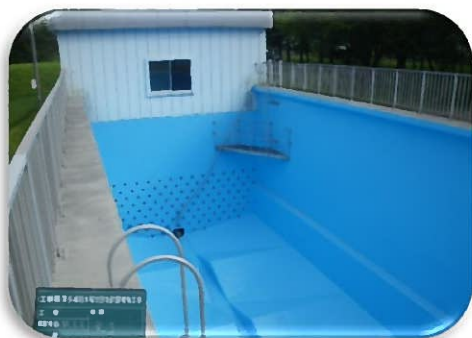
耐震化が完了した施設



第3配水池



勇振ポンプ場



沈砂池



緩速ろ過池

【浄水場施設の耐震化率】

令和3年度末現在

種別	施設数	耐震化施設数	耐震化率
高丘浄水場	24	18	75%
錦多峰浄水場	14	14	100%
全体	38	32	84.21%

【耐震化事業計画】

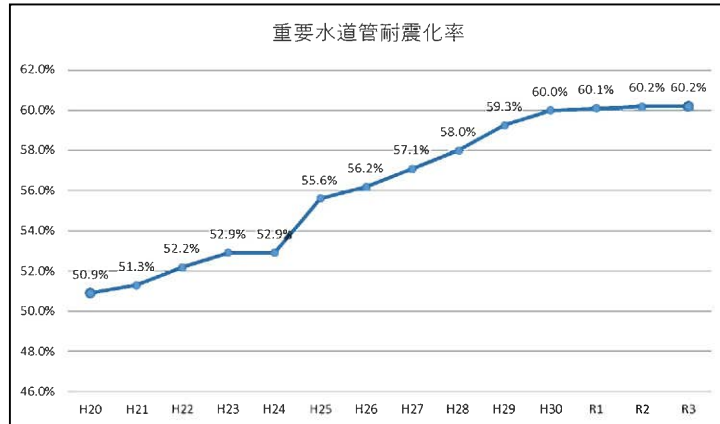
年 度	更新対象施設（高丘浄水場）
令和5年度以降	1号緩速ろ過池
	2号緩速ろ過池
	3号緩速ろ過池
	1号配水池
	原水量水井 原水量水井上屋

重要水道管 耐震化事業

口径300mm以上の導・送水管を含む全ての管路を重要水道管と位置づけ、耐震化を進めています。重要水道管は、配水管の上流部に使用されていることが多く、管路が損傷を受けた場合、断水の影響範囲が大きくなると考えられます。そのため、特に老朽化し耐震性に劣る管を優先的に耐震化し、効率的な事業実施に努めています。



配水本管改良工事



【重要水道管の耐震化率】

令和3年度末現在

重要水道管延長	うち耐震管延長	耐震化率
118,789m	71,480m	60.17%

重要給水ルート 耐震化事業

配水池から重要給水施設までの給水ルートの耐震化を図り、被災の抑制を目的として重要給水ルートの耐震化を進めています。

重要給水施設として、災害時に特に水道水を必要とする災害対策本部や応急給水拠点等を設定しており、配水支管を含めて大きな地震動に対し、所定の耐震性能を満たす管路へと布設替えを行っています。

重要給水施設一覧



拠点医療施設



応急給水拠点（緊急貯水槽等）

施設種類	施設名	施設種類	施設名
拠点医療施設 5か所	王子総合病院	応急給水拠点 22か所	糸井小学校
	苫小牧市立病院		北星小学校
	苫小牧日翔病院		豊川小学校
	同樹会苫小牧病院		北光小学校
	とまこまい脳神経外科		清水小学校
災害対策本部 6か所	苫小牧市役所		美園小学校
	樽前支部（樽前小）		日の出公園
	のぞみ支部（のぞみ出張所）		西小学校
	沼ノ端支部（沼ノ端コミセン）		若草小学校
	勇払支部（勇払出張所）		東小学校
応急給水拠点 5か所	植苗支部（植苗ファミリーセンター）		明野小学校
	樽前小学校		拓勇小学校
	錦岡小学校		沼ノ端小学校
	凌雲中学校		勇払中学校
	澄川小学校		ウトナイ小学校
泉野小学校	植苗小中学校		
日新小学校	合計		32か所（樽前小重複）

【重要給水ルートの耐震化率】

令和3年度末現在

対象管路延長	うち耐震管延長	耐震化率
67,236m	39,281m	58.42%

緊急貯水槽 整備事業

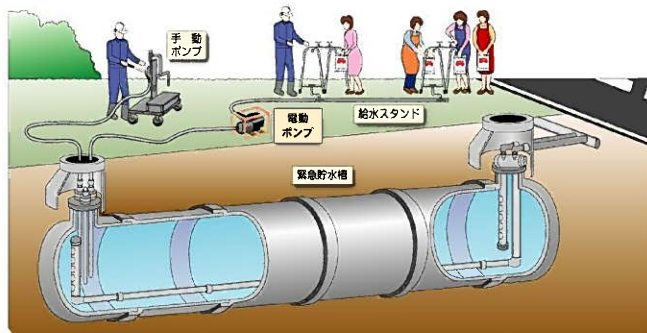
普段から、ご近所の
応急給水拠点を
確認しておくど安
心だなあ☆



【緊急貯水槽の整備について】

大地震や噴火などにより、水道施設が被害を受けた場合に備え、「被災時の飲料水確保」が必要となります。そのため、避難所に指定された小学校等において、17か所の緊急貯水槽と5か所の運搬給水拠点、合わせて22か所の応急給水拠点を計画しています。緊急貯水槽は、令和3年度末現在で15か所に設置されています。右の表で未設置となっている場所は、設置されるまで運搬給水で対応します。

緊急貯水槽には災害発生後の3日間、1人1日3リットルの水を給水することができるように計画していますが、非常時に備え、市民の皆様のご家庭でも飲料水の備蓄をお願いします。



緊急貯水槽の概要図

設置場所	給水方法	容量	設置年	
1	樽前小学校	貯水槽	10m ³	未設置
2	錦岡小学校	貯水槽	60	H29
3	凌雲中学校	運搬給水	-	-
4	澄川小学校	貯水槽	100	H25
5	泉野小学校	貯水槽	100	H22
6	日新小学校	運搬給水	-	-
7	糸井小学校	貯水槽	60	H28
8	北星小学校	貯水槽	40	未設置
9	豊川小学校	貯水槽	60	H23
10	北光小学校	貯水槽	100	R3
11	清水小学校	運搬給水	-	-
12	美園小学校	運搬給水	-	-
13	日の出公園	貯水槽	40	H16
14	西小学校	貯水槽	100	R1
15	若草小学校	貯水槽	60	H27
16	東小学校	貯水槽	60	R2
17	明野小学校	貯水槽	100	H30
18	拓真小学校	貯水槽	100	H26
19	沼ノ端小学校	貯水槽	60	H21
20	勇弘中学校	貯水槽	40	H23
21	ウトナイ小学校	貯水槽	40	H24
22	植苗小中学校	運搬給水	-	-



緊急貯水槽設置状況



緊急貯水槽を使用した訓練の様子

【緊急貯水槽の整備率】

令和3年度末現在

計画数	整備数	整備率
17	15	88.24%

水道管の 維持管理

水道管は網目状に埋められており、漏水や工事などの影響による断水や、水質の劣化がしにくくなっています。

これらの水道管を維持管理し、水道水の安定した供給を行っています。

漏水の早期発見

水道管は、長い間の腐食や破損などによって漏水を引き起こすことがあります。漏水は経済的損失だけでなく、水圧の低下、土壌の流出、陥没などの原因となることから、これらを未然に防ぐための点検や漏水調査を実施しています。また、主要幹線道路やJR用地の横断箇所に、高感度振動センサーを内蔵した監視ユニットを設置して継続的に漏水を監視しています。



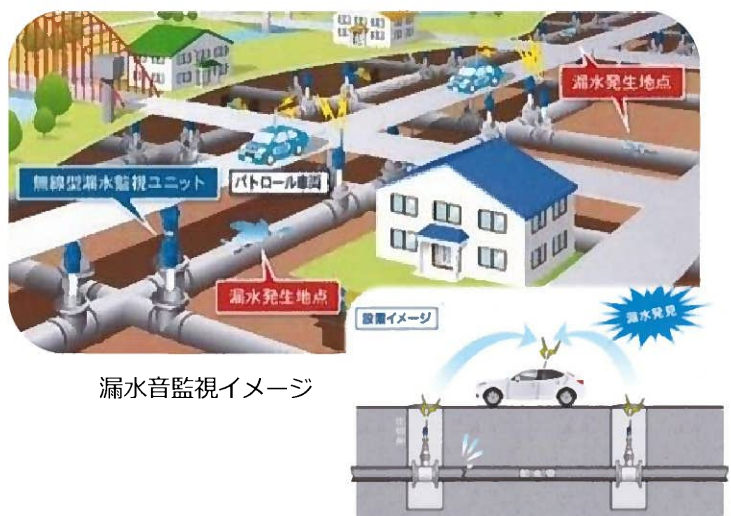
漏水が発生した水道管
(イメージ)



管路の点検作業の様子



漏水探知機による調査



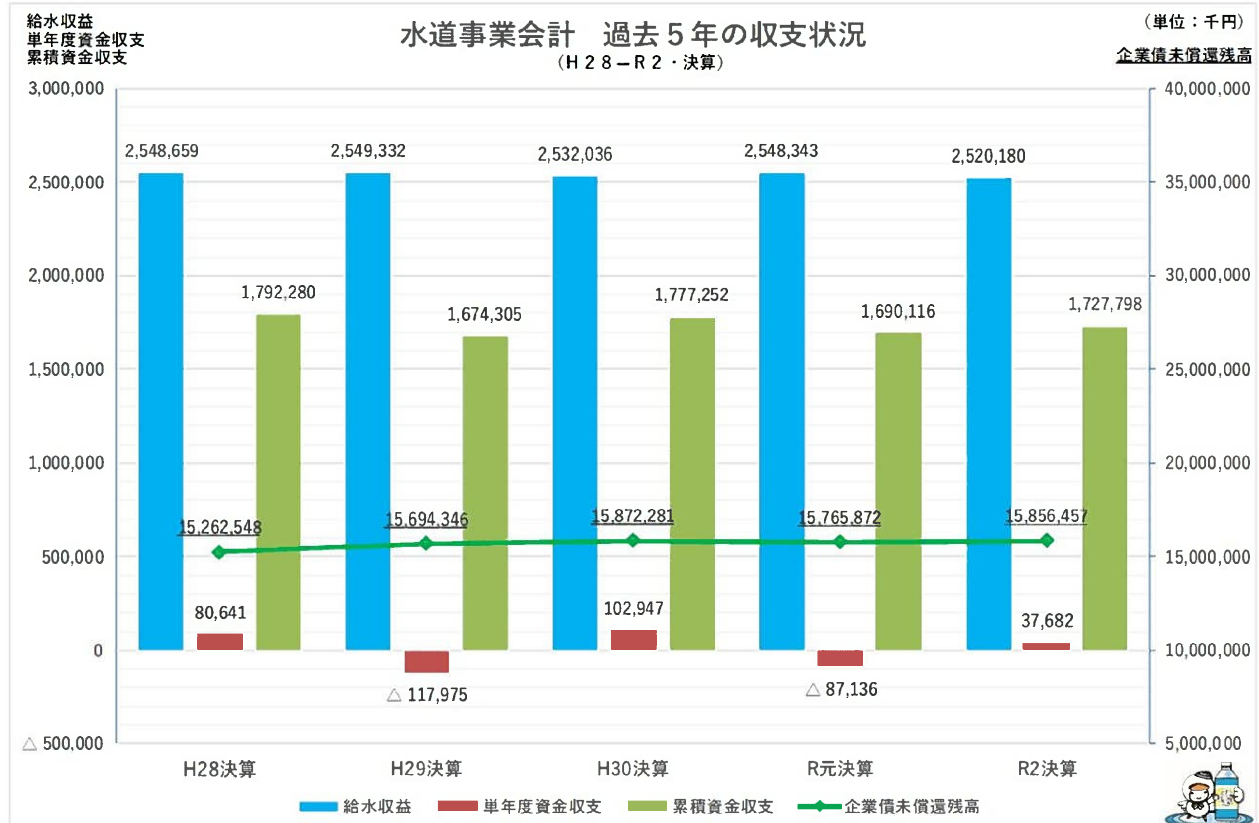
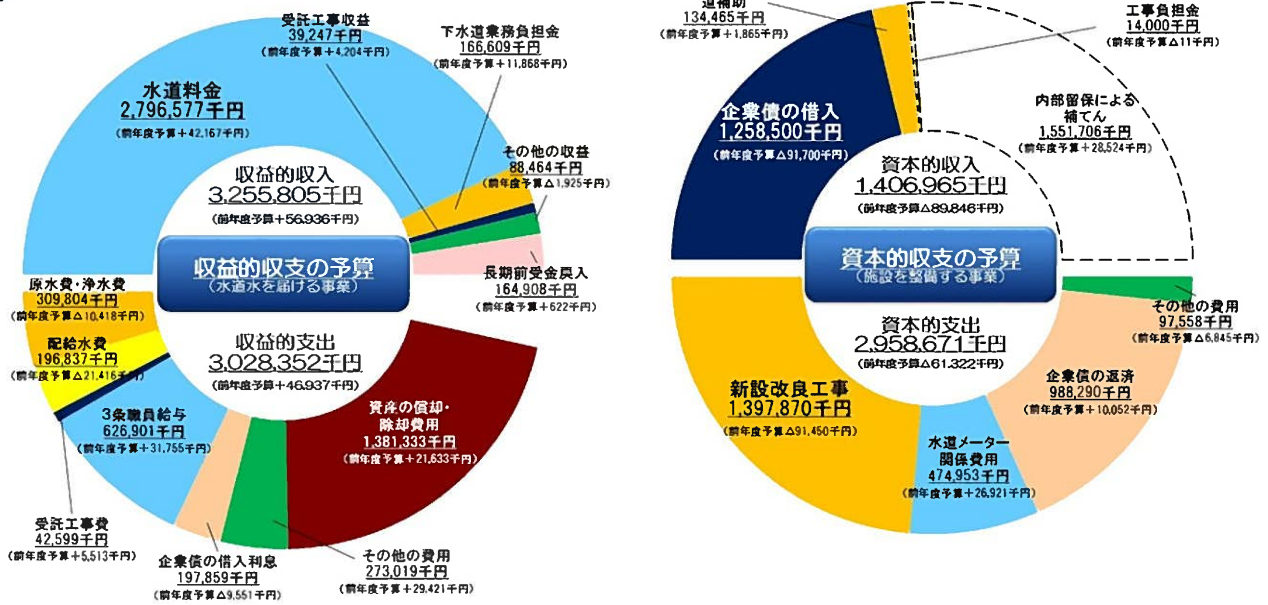
漏水音監視イメージ

財政

水道事業の予算

苫小牧市の水道事業は地方公営企業として経営しており、その事業の運営に必要な経費のほとんどを、水道事業で賄う独立採算制をとっています。

令和4年度 水道事業会計予算案の収支構成



水道料金

水道料金制度の概要

苫小牧市の水道料金は、下記のようなしくみとなっております。
通常、水道料金と下水道使用料をあわせて2か月ごとにお支払いただいております。



料金表

(消費税込)

		基本料金 2か月分	超過（従量）料金（1㎡）			
			0～16㎡	17～40㎡	41～200㎡	201㎡以上
家事用	25mm以下	1,958.0円	22.0円	126.5円	154.0円	162.8円
	40～50mm	6,248.0円				
	75～100mm	14,828.0円				
	150mm以上	30,008.0円				
業務用	25mm以下	3,982.0円	33.0円	195.8円	211.2円	224.4円
	40～50mm	8,580.0円				
	75～100mm	17,160.0円				
	150mm以上	32,560.0円				



苫小牧市の水道料金のしくみ

水道料金は「基本料金」と「超過料金」で構成されています



このように基本料金と超過料金の2本建てで計算される料金制度を「二部料金制」といいます。

基本料金とは

ご利用の目的や水道メーターの口径の大きさごとに設定された定額の料金です。

超過料金とは

使用した水の量に応じてご負担いただく料金です。基本料金に加算されます。



水道メーターの検針は、定例的に2か月に1回行います。

※月の途中から使用開始、又は中止したとき、基本料金は使用日数により月割料金となります。家事用とは一般家庭の生活用水、業務用とは家事用以外となります。

たとえば、**家事用・口径13mm・使用水量38㎡**の場合の水道料金（2か月分）の計算はこのようになります。

基本料金		1,958円	} 計 5,093円
超過（従量）料金①	（0～16㎡） 16㎡× 22.0円	352円	
超過（従量）料金②	（17～40㎡） 22㎡× 126.5円	2,783円	

支払方法

水道料金のお支払いは、①口座振替、②納入通知書、③クレジットカードからお選びください。

広報活動

水道事業への理解を
深めていただくために

市民生活に必要な不可欠な水道水を供給する水道事業者として、多様化する市民ニーズに対応するため、令和元年度から、「広報戦略委員会」を設置し、民間のノウハウを活かした新しい事業PRを推進するため業務委託を実施するなど、情報発信と事業PRの改善を図りました。

イメージキャラクター「スイミー」



苫小牧のおいしい水「とまチョップ水」



イメージソング



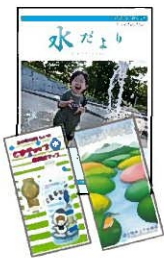
耳に残るリズムと歌詞で、苫小牧の水への興味を持つきっかけになるよう、イメージソングを制作。各種イベントや庁内で放送しています。

移動式デジタルサイネージ



水道事業の取り組みや、各種イベント、キャンペーンなどの情報を発信しています。

水だより・リーフレット・パンフレット



水にまつわるフォトコンテストなどを実施した新しい水だより、とまチョップ水販売店マップ、浄水場パンフレット

ホームページ・SNSによる情報発信

LINE@

お友だち募集中!



上下水道部
ホームページ
はこちら →



または

お問い合わせ先や手続き方法などの生活に密着した情報から、とまチョップ水販売店、各種イベントなどの最新情報を発信しています。

<https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/kurashi/jogesuido/sokatsu>

とまチョップ水の販売



平成27(2015)年より、苫小牧のおいしい水道水をPRするため、水道水を加熱殺菌し、塩素を取り除いたボトルドウォーター「とまチョップ水」を販売しています。

平成31(2019)年には、国際的な評価機関である「モンドセレクション」において**金賞**を受賞いたしました。

市内各販売店のほか、**港まつり**など様々なイベントでの販売、東京の「北海道どさんこプラザ有楽町店」でも販売しています。市内での購入や東京近郊に在住のご家族・ご友人などへ是非ご紹介ください。

水道事業に参加しよう



水道週間行事



応急給水訓練



水フォトコンテスト





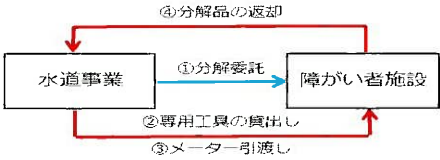
撤去水道メーター分解委託事業

使用済みの水道メーターを分解分別する作業を、市内の障がい者に就労支援等を行う福祉施設へ委託する事業を行っております。分解分別を行うことでリサイクルの高度化が図られ、循環型社会の構築を推進してまいります。また、就労支援等を行う福祉施設に作業を委託することで、地域社会の福祉に寄与してまいります。

1. 事業の概要



(分解前)



←金属類

←プラ類

(分解後)

専門工具は水道工事関連業者から寄贈を受けました。



出典：苫小牧民報社

2. 委託状況

令和3年度 実施数量等

項目	数量等	備考
分解総数	11,000個	令和2年度の使用済みメーター
委託先施設数	10施設	委託施設一覧参照
1施設当たりの委託個数	1,110個	11,000個÷10施設
委託期間	6月4日~12月17日	

令和3年度 委託施設一覧

事業所名	住所	提供しているサービス
(NPO)愛の里	宮前町2-24-12	生活介護・自立訓練（生活訓練）
(NPO)もなみ会 サポ-センターぶるみえ	光洋町1-10-1	就労継続支援B型
(株)進幸 POPサポート苫小牧	表町1-3-4	生活介護
(有)大有 ファミリーライフしらおい	宮前町2-9-2	生活介護
(社福)ピバランド ふれあいランド	新開町4-7-16	生活介護
(医)玄洋会 工房四季	若草町5-3-1	就労継続支援B型
特定非営利活動法人 紙風船・とまこまい 就労サポートセンター紙風船	柳町4-12-21	就労移行支援・就労継続支援B型
(社福)緑星の里 永光	北栄町3-11-3	生活介護・就労継続支援B型
(社福)美々川福祉会 美々川センター	字美沢193	生活介護・就労継続支援B型
(社福)緑星の里 ワークラドのぞみ	字植苗121-7	生活介護・就労継続支援B型

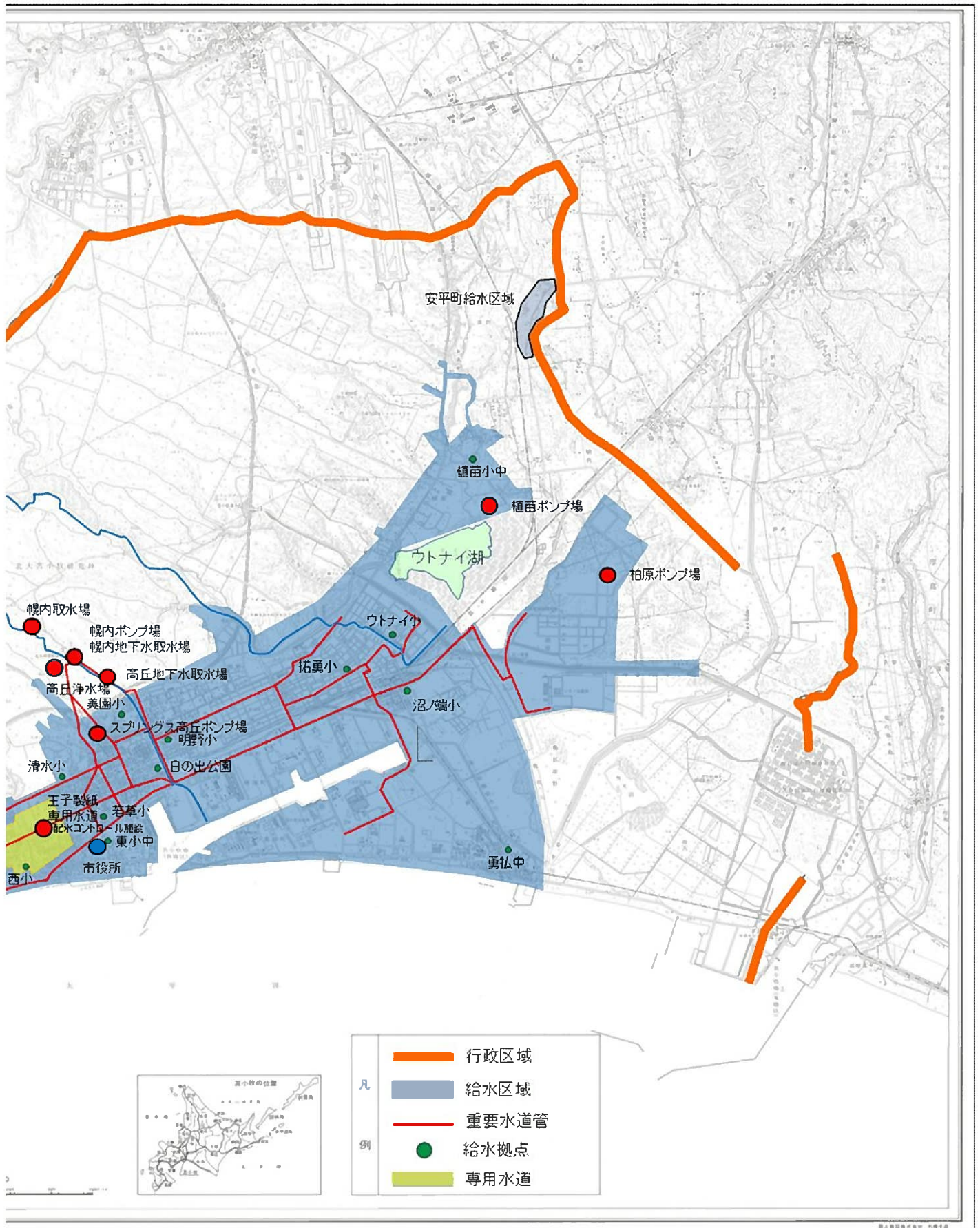
【受託者からのお声】

- 新しい仕事は、就労意欲の向上につながる。
- 今まで気がついていなかった通所者の個性や新たな可能性を見出すことができる。
- 施設として新規分野の仕事が増えることにより、収入の確保につながる。
- 以前休むこともあった利用者が、この作業を好きになり、施設を休まず来るようになった。
- 利用者が「私は市役所の仕事をやっている」と、自信や誇りを持ちながら生き生きと作業している。
- コロナの影響で、人が集まる場所に出向いて作業することができなくなった。このように持ち帰りできる作業があるのはありがたい。
- 製造する作業だと細かい仕様に揃えるのが難しいが、解体は正確さが求められるので、障がい者の作業に向いている。

※令和3年度から、新たに受信器の分解分別業務も開始。

給水区域図

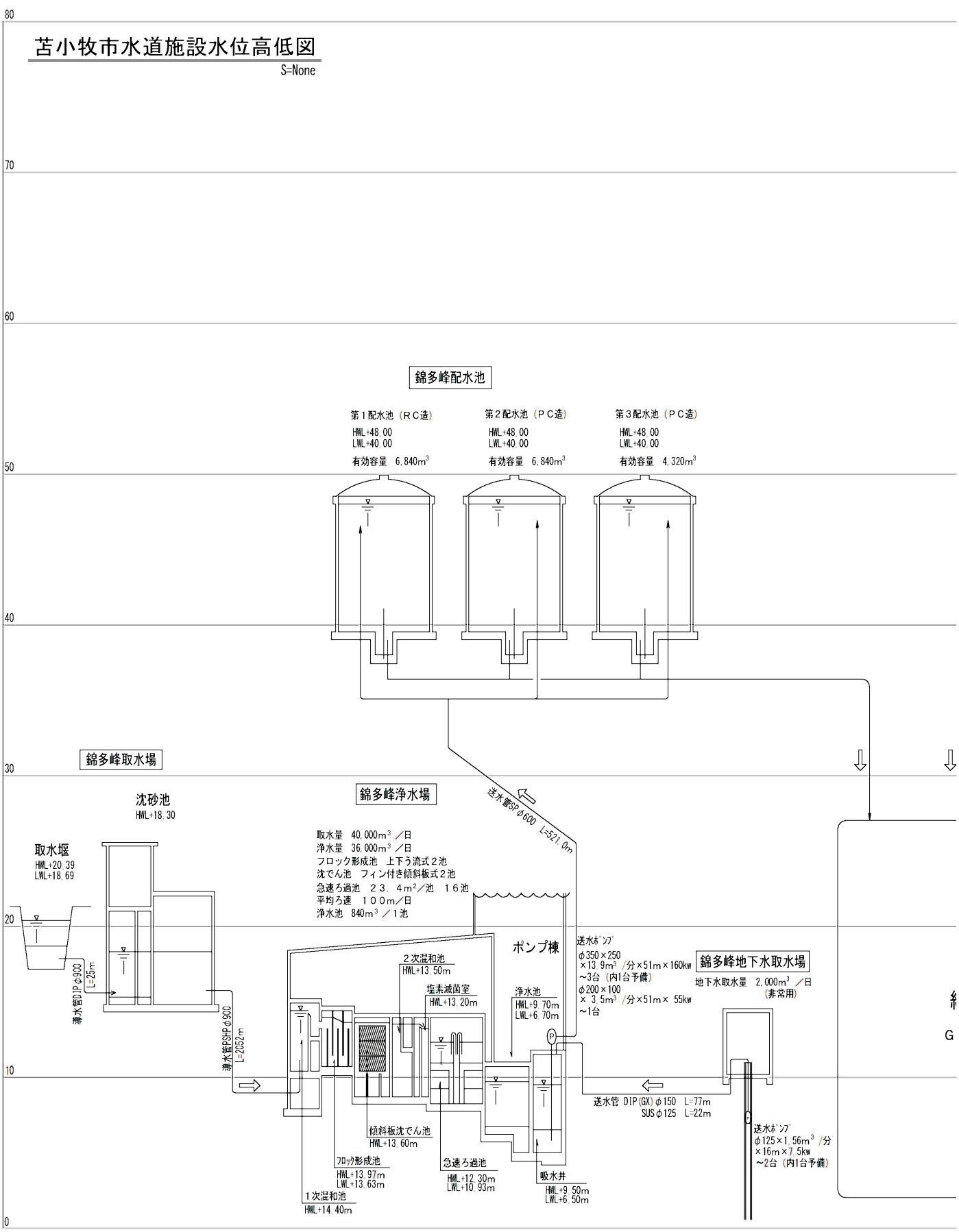




苦小牧市水道施設水位高低図

S=None

80
70
60
50
40
30
20
10
0



錦多峰配水池

第1配水池 (RC造)	第2配水池 (PC造)	第3配水池 (PC造)
HWL+48.00	HWL+48.00	HWL+48.00
LWL+40.00	LWL+40.00	LWL+40.00
有効容量 6,840m ³	有効容量 6,840m ³	有効容量 4,320m ³

錦多峰取水場

沈砂池
HWL+18.30

取水堰
HWL+20.39
LWL+18.69

錦多峰浄水場

取水量 40,000m³/日
 浄水量 36,000m³/日
 フロック形成池 上下流式2池
 沈でん池 フィン付き傾斜板式2池
 急速ろ過池 2.3.4m²/池 16池
 平均ろ速 1.00m/日
 浄水池 840m³/1池

ポンプ棟

送水ポンプ
 φ350×250
 ×13.9m³/分×51m×160kw
 ~3台 (内1台予備)
 φ200×100
 ×3.5m³/分×51m×55kw
 ~1台

錦多峰地下水取水場

地下水取水量 2,000m³/日
 (非常用)

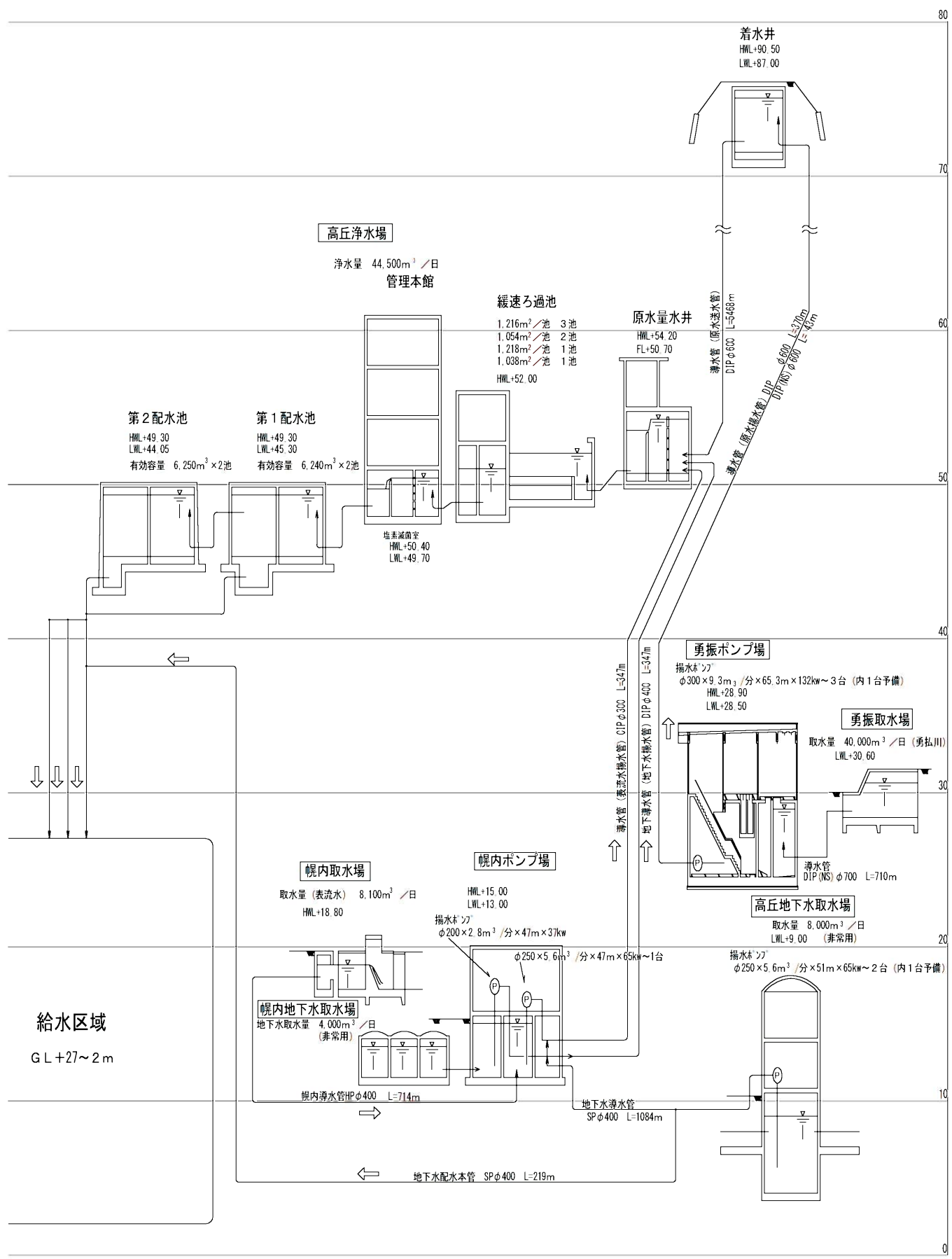
送水管 DIP φ900
L=25m

送水管 PSPP φ900
L=265.2m

送水管 φ600 L=521.0m

送水管 DIP (GX) φ150 L=77m
 SUS φ125 L=22m

送水ポンプ
 φ125×1.56m³/分
 ×16m×7.5kw
 ~2台 (内1台予備)



給水区域
G L +27~2m

高丘浄水場
浄水量 44,500m³/日
管理本館

緩速ろ過池
1,216m²/池 3池
1,054m²/池 2池
1,218m²/池 1池
1,038m²/池 1池
HML+52.00

第2配水池
HML+49.30
LWL+44.05
有効容量 6,250m³×2池

第1配水池
HML+49.30
LWL+45.30
有効容量 6,240m³×2池

着水井
HML+90.50
LWL+87.00

原水量水井
HML+54.20
FL+50.70

勇振ポンプ場

揚水ポンプ
φ300×9.3m³/分×65.3m×132kw~3台 (内1台予備)
HML+28.90
LWL+28.50

勇振取水場

取水量 40,000m³/日 (勇払川)
LWL+30.60

幌内取水場

取水量 (表流水) 8,100m³/日
HML+18.80

幌内ポンプ場

HML+15.00
LWL+13.00
揚水ポンプ
φ200×2.8m³/分×47m×37kw
φ250×5.6m³/分×47m×65kw~1台

高丘地下取水場

取水量 8,000m³/日 (非常用)
LWL+9.00

幌内地下取水場

地下水取水量 4,000m³/日 (非常用)

高丘地下取水場

揚水ポンプ
φ250×5.6m³/分×51m×65kw~2台 (内1台予備)



お問い合わせ・相談窓口のご案内



上下水道部へのお問い合わせ および 相談窓口

【受付】 平日
8:45~17:15まで

苫小牧市外、または携帯
電話からおかけの場合
は、電話番号のはじめに
市外局番 **0144** を
つけてください。

電話番号のお掛け間違いに
ご注意ください。

水道料金に関するお問い合わせ

使用開始・中止の届出、メーターの検針などについて → 料金係 ☎ 32-6679
水道料金、下水道使用料のお支払いについて → 収納係 ☎ 32-6647

水道窓口課へ

水道の調査・建設工事のお問い合わせ

水道の調査・計画などについて → 計画係 ☎ 32-6587
水道建設工事の設計・施行などについて → 工事係 ☎ 32-6589

水道課へ

給水装置・配水管・給水管などのお問い合わせ

宅地内の水道、水道メーターなどについて → 給水係 ☎ 32-6695
道路上の水漏れ・水道の図面取得などについて → 管理係 ☎ 32-6701

水道課へ

水道水の水質に関するお問い合わせ

水道水の水質について → 水質検査係 ☎ 67-1153

錦多峰浄水場へ

とまチョップ水や入札などに関するお問い合わせ

とまチョップ水の販売などについて → 総務係 ☎ 32-6628
入札・契約などについて → 経営係 ☎ 32-6692

総務経営課へ

下水道の維持管理などのお問い合わせ

下水道の維持管理・排水設備について → 管理係 ☎ 32-6604

下水道課へ

こんなときは

- ご家庭の水道の修理や水道凍結の修理のお申込み
- 水洗トイレなどの水漏れなど



苫小牧市指定給水装置工事事業者
にお申込みください。

「水道修理を行う業者
名簿」はQRコードから
ご覧になれます。



上下水道部
ホームページはこちら →



または

苫小牧 上下水道事業 検索

<https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/kurashi/jogesuido/sokatsu>



編集・発行 苫小牧市上下水道部
令和4年5月発行

〒053-8722

苫小牧市旭町4丁目5番6号

TEL 0144-32-6111

FAX 0144-37-1661

HP <https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/>